

高橋揚子先生「舌診・診断の基本(望診・問診)」研修会

8月4日(日)、日本女子大桜楓館にて標記研修会が開催されました。
午前の「舌診」には40名、午後の「診断法の基本(望診・問診)」は60名の参加がありました。

午前は、レジメに沿って舌診につき学び、最後は30名ほどの方が先生よりご自分の舌を診断していただき、それを、側で全員が先生の説明と診断を受けている会員の舌を観察する形で学び、研修会を終了しました。

午前「舌診」は新規の方のみと限定させていただき、ご希望に添えなかった方も出ましてご迷惑をおかけしました。また、パソコン(女子大貸し出し)と先生のデータディスクバージョンが合わず、パワーポイント画面を確認するのに時間がかかりましたこと、申し訳ありませんでした。

午後は、診断法の基本のうち「望診・問診」について学びました。冒頭、先生が仰ったようにこの日、半日では学びきれない内容について、ポイントを押さえて分かりやすく講義されました。レジメには無いパワーポイントの資料、講義にメモを取る手が止まらない充実した研修に、今後もやはり学び続ける大切さを確認しました。

先生のご厚意で、普通はいただけない大切なパワーポイントの資料もいただけることになりました。くれぐれもコピーなど拡散しないようお願いいたします。猛暑の中、参加されました皆様、お疲れさまでした。

